

令和4年第4回山田町議会定例会 一般質問通告の要旨

一般質問は、12月13日(火)に順位1～5を、14日(水)に順位6～8を行う予定です。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	1番 昆清	1 安全・安心な町づくりについて	(1) 岩手県は、東日本大震災の被害を踏まえ、先頃「千島海溝・日本海溝を震源とする巨大地震」について「津波浸水想定」を発表したが、当町の東日本大震災以後に建設を進めている水門や防潮堤の進捗はどのようになっているのか伺う。 (2) 水は少しの隙間からも容赦なく侵入し、それにより低い地域のすべてを埋め尽くす性質がある。県は津波浸水区域を示したが、県工事が遅れているのはどのような原因によるものか、また完成はいつ頃になるのか示せ。
		2 今後の危機管理体制について	冷戦時代に、核戦争の脅威を身近に感じたヨーロッパの国々には、地下避難施設や核シェルターが完備され、地下鉄や地下施設を防空施設として活用できるように工夫されているようだ。日本全国には9万4125カ所の避難に活用できる施設があると報道を見たが、具体的にはどのようなもので、仮に当町が攻撃を受けた場合、避難に活用できる場所や施設は何カ所あるか。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	1 番 昆 清	3 人口減少問題について	かつて山田町が想定した人口の推移は、平成27年時点で16,000人程度の目標であったが、同年の国勢調査では15,826人であった。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、令和22年の山田町の人口を約9,200人に減少するものと推定しているが、人口増加を図り、豊かな町を築いていくために必要な道路や公園の配置、インフラ整備とその利活用について町の主な計画を示せ。
		4 観光について	(1) 山田町は、山田湾や船越湾をはじめ、他の町と比較しても遜色のない豊かな資源と美しい海があるが、それらの資源の活用をどのように考えているか町の基本的な方針を伺う。 (2) また、具体的な観光業の施策についても示せ。
		5 陸上養殖の可能性について	(1) 例えばバナメイエビは、世界的な需要が見込めると思うが、東日本大震災後の復興事業によって生じた未利用地を使った陸上養殖は可能か。 (2) また、磯焼けの原因の一つとなっているウニの陸上における蓄養は可能と思うが、駆除対象となるウニを捕獲し、未利用地を活用した施設で蓄養してはどうか。
		6 送迎バスの置き去り事故について	送迎バスの置き去り事故が全国的に話題になっている。当町では類似の事案はないか。また対策について町ではどのように考えているか伺う。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	2番 阿部 吉衛	1 防潮堤について	防潮堤工事も今年度末までに完了見込みのようであるが、各防潮堤を見て回ると避難階段や上部に転落防止柵のない箇所が見受けられる。これらについての整備計画はどのように進められていくのか伺う。
		2 公共施設について	(1) 公共施設の利活用について、令和3年第4回定例会で質問した際、施設ごとに説明があったが、現時点でまだリフォームされていない施設等が見受けられる。現状はどうなっているか。 (2) また、経年劣化などにより外観がよくない施設があるが、今後、改修等の計画はあるのか。
		3 観光について	オランダ島の土砂崩れ対策について、令和4年第2回定例会で質問した際、「県の治山事業により崩落防止対策を講じる」と答弁があったが、その後の整備計画はどのようになっているのか。
		4 地域安全対策について	町内各地、住宅街においても街灯が設置されず、暗い場所が多く見られる。町では地域安全のため、街灯設置をどのように進めていくのか具体的に示せ。
3	9番 木村 洋子	1 新型コロナウイルス感染症について	(1) 直近の感染者数、死亡者数、ワクチンの接種状況は。 (2) 学校、保育施設、福祉施設等クラスター発生の状況は。 (3) 感染者が発生した施設や自宅での対応はどのようになっているか。また、対応が困難な状況はあるか。
		2 新しい公共交通の導入について	(1) 9月に豊間根地区において住民懇談会が開催されたが、内容とどのような要望があったか。 (2) 懇談会を踏まえ、今後は、どのようにして豊間根地区の住民の足を確保していくのか。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	9番 木村 洋子	3 高校生の医療費現物給付について	現在、当町では、高校生の医療費は窓口で一旦支払い、後で給付されているが、子育て世帯の負担の軽減を考え、窓口での支払いをゼロにするべきではないか。
		4 コロナ禍、物価高騰について	飼料、肥料などの農業資材の高騰が続く、農家の経営を圧迫している。畜産においては、子牛の価格が下落し、たいへん厳しい状況と聞く。農業、畜産業者の暮らしとなりわいを守るため、町としても支援を行い農業に希望が持てるようにすべきではないか。
		5 「気候危機」打開について	地球温暖化などの影響で、豪雨、猛暑による被害が発生しているが、2030年までの町としての環境問題に対する具体的目標と計画を示すべきではないか。
		6 AEDの設置について	(1) 心臓発作時などの救命の場で、AEDは必要不可欠なものとなっているが、救急車到着に時間を要する遠方の地域では、AEDの設置はどのようになっているか。 (2) 豊間根、大浦地区においては、休日や夜間でも迅速に使えるようになっているか。 (3) 遠方の地域で暮らしていても、AEDが近くに設置されていることは、住民の安心につながる。救急時、迅速にAEDが使えるようにAEDの設置と多くの住民に操作方法を指導していただきたいがどうか。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	11番 横田 龍寿	1 三陸鉄道の 実施事業につ いて	山田町を含めた三陸鉄道沿線自治体は三陸鉄道の経営に対し、資金面で支援をしている。しかし町が三陸鉄道へ事業案を提案しているという話は聞こえてこない。 今後の三陸鉄道の経営のためにも資金面だけではなく、事業提案をしていくべきではないか。
		2 みどりの食 料システム戦 略について	令和4年第2回定例会で質問したが、県と共同で策定する基本計画にはどのような施策を盛り込み、みどりの食料システム戦略を推進していくのか、その内容について改めて伺う。
		3 町有施設予 約について	施設利用について利便性を図るため、施設予約、特に教育・スポーツ施設予約のオンライン化をしてはどうか。
		4 学習塾代等 助成事業につ いて	子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、子どもたちの学力や学習意欲、個性や才能を伸ばす機会を提供するために、希望をする子どもたちに学習塾代等を助成する考えはないか伺う。
5	6番 黒沢 一成	1 マイナンバ ーカードの交 付状況につい て	国はマイナンバーカードを普及するため最大2万円のポイントを付与するなどの施策を行っている。交付が進んでいる自治体は90%を越えているが、低い自治体では30%を切り、自治体間で大きな差があるようだ。そこで伺う。 (1) 本町の交付率はどの程度であるか。 (2) 役場職員の交付率はどの程度か。 (3) 交付状況により、来年度以降の地方交付税に差がでるとの報道も聞いたが、実際の状況はどうか。 (次のページへ)

順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	6番 黒沢 一成	1 マイナンバーカードの交付状況について (つづき)	(4) 保険証として利用できるようだが、病院に専用の機材がなければ利用できないとの話もある。実際の状況はどうか。また町民が利用する医療機関では使える状況にあるのか。
		2 役場職員数の現状について	(1) 国が定めた震災からの復興期間が終了したが、新型コロナ、ロシアのウクライナ侵攻の影響などで、なかなか平時と言えない状況である。ただ職員の業務量は震災前と同程度に戻ったと思う。町の人口は平成22年10月1日時点で19,372人(7,211世帯)から令和4年11月1日時点では14,538人(6,488世帯)と、震災前の平成22年と令和4年を比較すると、25%減少した。処理数は減っても、業務種数は減らないので、必要な職員数はそれほど減らないものだが、人口に見合った数はあると思う。そこで伺うが、現在の職員数、採用計画は震災前と比較しどのような状況であるか。 (2) 仕事には個々人の意識の差がでるが、数年で人事異動があることから業務の引き継ぎがしっかりと行われることが重要である。そのようになされているか。また、年代間での人員数の差が少ない方が継続的に安定した状態が維持しやすいと思うが、その点はどうなっているか。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	8番 佐藤 克典	1 町道の整備について	<p>町道八千代白山線の山田北インター登坂車線側南東部約200メートルは道路幅員が狭く、対向車とのすれ違いの時には待機や徐行している状況である。</p> <p>また、道路に並行している用水路は、以前は石峠地区水田への用水路として利用、現在は周辺の水田の排水路として利用されている。</p> <p>この用水路は水量が少ないものの、浸透しにくくよどんでいることから、雑草が繁茂し、病害虫の発生など衛生上好ましくない状況である。</p> <p>このような状況を改善するため、用水路のコンクリートの側溝化、また、山田北インターフル化後の交通量の増加を見越し、道路の拡幅を図るべきと考えるがいかがか。</p>
		2 旧荒川小学校の利活用について	<p>過日、交流人口拡大への取り組みとして、旧荒川小学校を活用したい旨の報道がなされた。旧校舎の利活用については良いことと思うが、町としてどのように考えているのか、その内容について伺う。</p>
7	10番 関 清貴	1 山田高校の存続について	<p>町が山田高校に対する支援は、本年度200万円を補助、高校生議会を開催するなど町は施策として真摯に取り組んでいるが、来年の入学者が20名以下になると次の年から原則募集ができないと聞く。我々、町民にとって諸先輩方が歴史を重ね、町内外に数多くの人材を輩出し、町づくりになくてはならない学び舎である。また、在校生は町内でボランティア活動をするなどして山田を担う人材として期待されている。行政としてできることは限られると思うが、残された期間、町民の心を一つにして臨むべきと考えるがいかがか。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	10番 関 清貴	2 携帯電話の不感地帯について	<p>携帯電話は町民にかなり普及し、生活するうえでなくてはならないツールであると思う。そこで伺う。</p> <p>(1) 本町の人口に対する普及率はどのくらいか。</p> <p>(2) 町内において不感地帯の調査をしたことがあるか。調査していない場合、携帯電話で気象・災害情報を入手できることから、住民の安全安心を考えると調査は必要であると考えますが、通信会社等と情報共有して対策を考えられないか。</p>
		3 子どもの居場所づくりについて	<p>(1) 少子化による学校統合、震災による居住地の分散のため地区子供会の活動は復活が難しいと思われ、子供たちが集まる場が少ないのが現状である。学校の勉強に不安な子、学習内容が遅れている子に対し「学びの塾」などを創設する考えは。</p> <p>(2) 子どもの居場所、子ども食堂の取り組みについて実施している団体と住民の方々と連携して良い事業にするための道を模索する考えは。</p>
		4 産業振興について	<p>(1) 新・道の駅の開業が近づき本町の産業の活性化が期待される。本町では特産品、お土産品の品数が今以上に必要と思う。そこで産学官の連携や高校生のアイデアを活かすなどの体制で生産者等が開発する環境を構築してはどうか。</p> <p>(2) 本町において起業に対する施策を積極的に進め、UIターンを推進し、町内の人材確保と魅力ある町づくりを進めるべきと思うが町では具体的な起業支援策を考えているか。</p> <p>(3) トラウトサーモンの生産量を増やし、漁業の振興を図る考えはあるか。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	10番 関 清貴	5 町道の維持 整備について	<p>町の環境整備については復興事業もほとんど完成し進んではいるが、町の道路環境等に対する住民要望は高いものがある。道路維持費の予算計上額では足りないのが現状であると思う。</p> <p>そこで伺う。</p> <p>(1) 町道維持工事において1カ所の工事費に上限を設けているか。</p> <p>(2) 工事完成検査は写真等による簡易検査かどうか。</p> <p>(3) 本年度予算での旧町村単位ごとの施工箇所数、事業費について具体的に示せ。</p> <p>(4) 現在の全事業の進捗率はどのくらいか。</p> <p>(5) 本年度に住民に要望され、実現可能な工事は全て発注されているか。</p> <p>(6) 私道整備事業の本年度の申請件数は。また、制度の見直しをしたと思うが要望件数は増えたか。</p>
8	4番 豊間根 信	1 新・道の駅 今後の展開について	<p>新・道の駅の工事も着々と進み、町の賑わいへの拠点として期待が高まるばかりである。これまで町中心部をはじめとして町内全域への経済活性化効果の拠点としなければと話してきたが、今後どのような方向性をもって地域連携を進め町全体の経済活性化へつなげて行くのか、道の駅の独自性・更なるアイデアが求められている。町の現状と課題・今後の取り組みについて伺う。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	4番 豊間根 信	2 町内経済活性化策について	今日まで積極的な経済活性化施策を展開されてきたことは、町内事業者の方々にとって大変心強く、励まされ希望へとつながってきた事業と評価している。経済の底上げがなかなか感じられない状況においては、様々な対応施策がまだまだ必要と思われる。今後の施策展開について問う。
		3 コロナ禍による子どもたちへの影響について	(1) 依然として長引くコロナ禍の状況は、児童・生徒の生活・教育環境にも多大な影響があるのではないかと思うが、その現状について問う。 (2) また、いじめ・登校拒否・遅刻・早退などの状況について伺う。 (3) ワクチン接種の後遺症などによる長期欠席等への対応について、具体的な施策について問う。